2013年度　前期　　リフレクションペーパー

学科名	経営ビジネス学科				
科目名	福祉人間工学				
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次後期
必修・選択の別	選択				
担当者	大箸純也				
授業の到達目標（シラバスから）	・社会における福祉の必要性について生物学的観点から知る ・障害、さまざまなヒトによって社会が構成されていることを知る ・子供に対する安全確保の概略を知る ・老化の問題とその対応方法について知る ・視覚、聴覚、運動などの機能障害および知的障害における問題と対策を知る				
日程と内容	9月20日 授業概要、福祉人間工学と経営、幸福について 9月27日 ノーマライゼーション、障害の考え方（高齢者、一時的能力低下） 10月04日 ユニバーサルデザイン、障害者支援のための法：ADA、バリアフリー新法、総労働力投資法、障害者雇用促進法 10月11日 ヒトの進化と障害 10月18日 成長、子どもの安全（基本、チャイルドプルーフ、リスクとハザード（例を除く）） 10月25日 公園の安全基準、知的障害、発達障害の学習障害まで 11月01日 発達障害の対応法、前半演習試験 11月08日 大人の発達障害ビデオ仕事編（対応事例の前まで）、老化、骨そしょう症 11月15日 骨粗鬆への対応、廃用性症候群、筋の種類と老化、歩行、スロープとステップ 11月22日 てすり、視覚、聴覚機能、体温調節 11月29日 高齢者のその他の生理機能、神経精神的考慮、脊髄損傷の概要・原因・皮膚感覚・体温調節 12月06日 脊髄損傷の排泄機能、事例。内部障害の概要、心機能、肺機能、腎機能、ビデオ 12月13日 内部障害：膀胱・直腸、小腸、免疫。車いす：問題とその要因、構成、重心問題、設定 12月20日 車いすの設定、移乗、傾斜などの条件、後半演習試験 1月10日 視覚障害・聴覚障害（伝達法まで）、演習試験2 1月24日 演習試験3				
成績評価基準	定期試験 70%　実技 0% 臨時試験 0%　部外評価 0% 報告書・レポート 0%　プレゼンテーション 0% 課題 0% 演習 30%　計 100%				
授業到達目標の達成度	今年度は、「発達障害」を新たに加えました。その結果として、視覚障害と聴覚障害を簡略化しました。ただし、理解してほしい事項については示せたと考えています。				
反省点	扱う内容が増えているので、全体的なバランスを再考する必要があります。				
来年度の計画	来年度は、高齢者に関する部分を若干簡略化することで、全体をできるようしようと考えています。				
授業評価アンケートに対するコメント	私の話し方が不明瞭で分かり難いというのが、全体的な評価が低い原因のように考えます。今後、表現について気を付けることとします。				

履修登録者数	97 名	定期試験受験者数	74 名	合格者数	63 名	合格率	85%